

麦づくり情報(No.3)



1. 麦作況情報田の生育概況(3月1日現在)

| 場所 | 品種名 | | 播種日 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 主稈葉数 (L) | 葉色 | 概況 |
|----|----------------------|------------|-------|------------|---------------------------|-------------|------|--|
| 牛津 | サチホ ゴールデン 4条播き | 本年値 | 12/14 | 21.9 | 786 | 6.8 | — | 草丈は平年より高い。(147%) カモの食害があり、茎数は平年より少ない。(93%) 葉令からみた生育は平年より早い。 ※平年値(農試データ) |
| | | 平年値 ※参考 | 12/10 | 15.5 | 843 | 5.8 | — | |
| 大和 | シロガネ コムギ 8条播き | 本年値 | 11/27 | 31.2 | 784 | 7.2 | — | 草丈は平年より高い。(152%) 茎数は平年より多い。(111%) 葉令からみた生育は平年より早い。 |
| | | 平年値 | 11/29 | 20.5 | 708 | 6.6 | 47.0 | |

生育は、平年より早く進んでおり、11月20日～下旬頃に播種したシロガネコムギでは茎立期(節間長20~30mm)を過ぎている。

2. 今後の管理

○穂肥施用について

ビール大麦 【タンパク質含有率値確保(10~11%)のため、穂肥施用を行う】

2月の降水量と葉色により、穂肥量を決定する。

降水量が多い場合は、肥料の流亡が多くなるため、施肥量を多くするという考え方である。

ただし、倒伏を招く可能性があるため、過剰な施肥は行わない。時期は、**3月10日頃までに実施する。**

大豆後においても同様に施肥を行うが、中間追肥を減らさずに行った圃場においては施肥しない。

| 2月の月間降水量 平年値:77mm | 3月上旬の葉色 (SPAD値) | 穂肥施用量 BB602(N成分)/10a |
|----------------------|--------------------|-------------------------|
| 100mm以上 | 葉色にかかわらず 原則施用する | 20(3)kg |
| 50~100mm | 42以下 | 20(3)kg |
| | 43~45 | |
| | 46以上 | 15(2)kg |
| 50mm以下 | 42以下 | 15(2)kg |
| | 43以上 | 施用しない |

- 今年の2月の降水量は**84mm**である。
- 今年は茎数が多く、葉色が淡い圃場が多くみられるため、**BB602で20kg/10aを基準**と考える!

小麦 地区のこよみに準じた施肥量とするが、生育が早いため施用が遅れないように留意する。

○病害虫防除

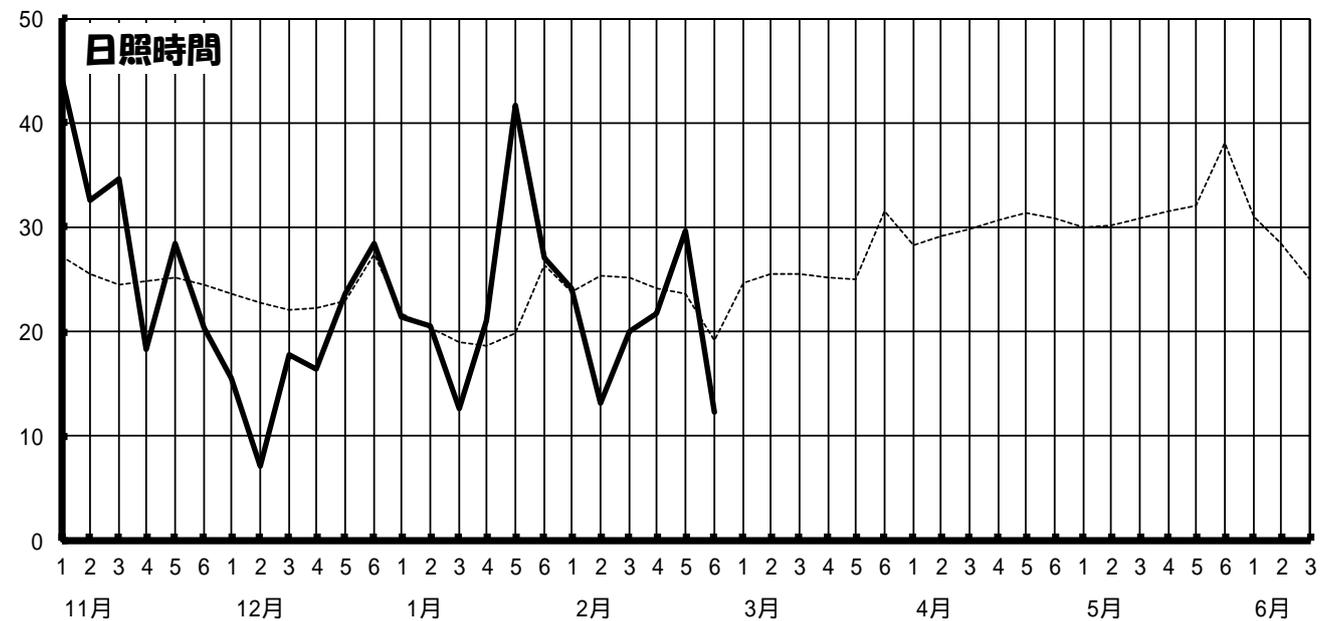
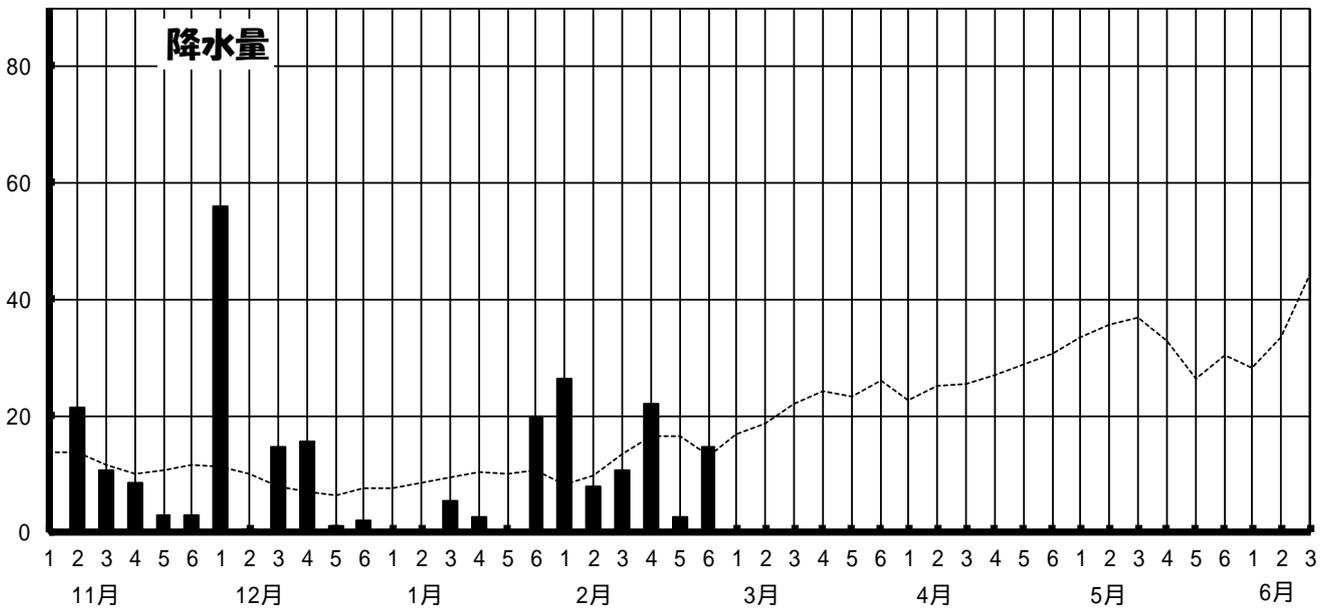
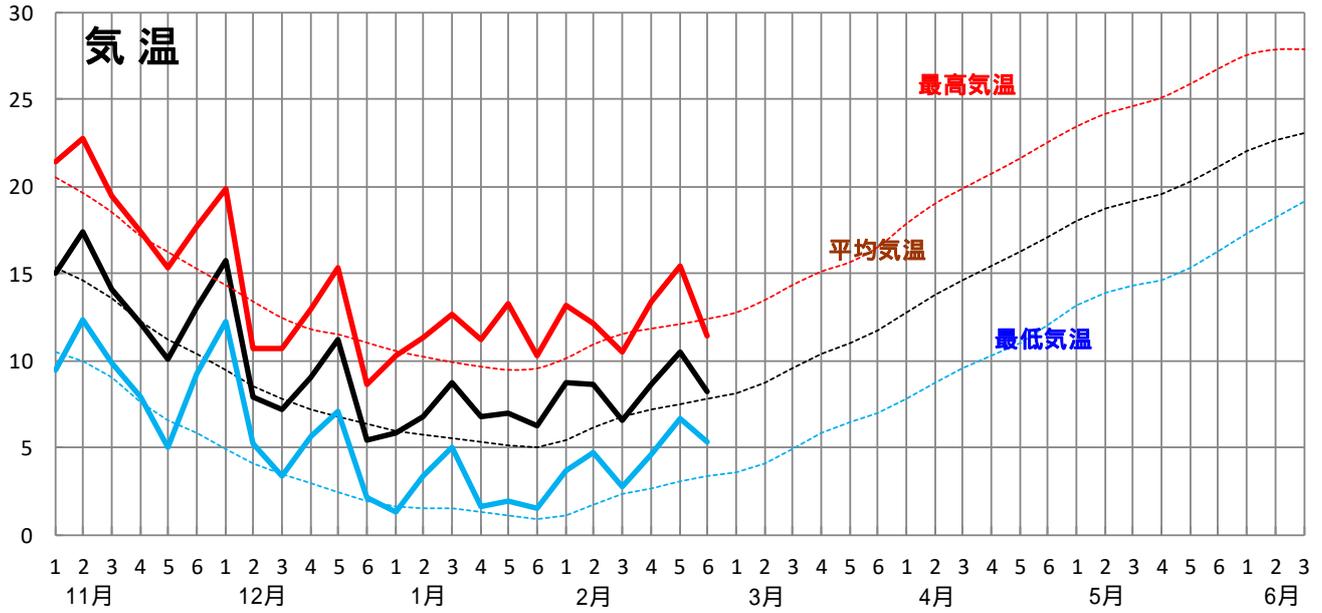
大麦：一部圃場で網斑病の発生がみられ始めている。採種圃は出穂期～穂揃い期に網斑病対策としてチルト乳剤で防除する。

【農業試験場の作況田における出穂期】

| 品種 | 播種時期 | 平年 | 昨年(平成30年産) |
|----------|----------|-------|------------|
| サチホゴールデン | 12月10日播き | 4月9日 | 4月8日 |
| | 12月20日播き | 4月12日 | 4月10日 |
| はるか二条 | 12月10日播き | — | 4月7日 |
| シロガネコムギ | 11月20日播き | 4月8日 | 4月6日 |
| | 12月10日播き | 4月15日 | — |

31年産麦類生育期間気象グラフ アメダス観測値（佐賀）

佐城農業改良普及センター



グラフ中の点線は平年値